

「目的主導の旅」の始まり

「御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも」

(マタイ 6 : 10)



目的主導の旅は、神の栄光に始まり、神の栄光で終わる

私たちの存在目的は、神の栄光と御国と御力の中に見出されます。なぜでしょうか。私たちの天の父は、王なるお方です。私たちの父であり王である神は、私たちを導き、見守り、毎日の必要を満たしてください。父に何かをするように言われたら、私は忠実な子として喜んで従うことでしょう。しかし、王がお語りになるとき、その臣民である私たちには一つの義務があります。すなわち、心から「はい」と言って従うことです。



聖書は神の御心とご計画を明らかにしている/それが私たちの人生の土台である

歴史は、一つのクライマックス、すなわち終末に向かって進んでいます。

「主は言われる。『わたしは生きている。すべてのひざはわたしの前にかがみ、すべての舌が神をほめたたえる』と。それで、わたしたちは一人一人、自分のことについて神に申し述べることになるのです」 (ローマ 14 : 11-12)

「人の子は天使たちを遣わし、つまずきとなるものすべてと不法を行う者どもを自分の国から集めさせ、燃え盛る炉の中に投げ込ませるのである。彼らは、そこで泣きわめいて歯ざしりするだろう」 (マタイ 13 : 41-42)

神は愛であり、私たちがみな、神と共に永遠に生きるようになることを願っておられます。

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」 (ヨハネ 3 : 16)

「ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです」 (IIペトロ 3 : 9)

それでは、神は私たちに何を期待しておられるのでしょうか。神は私たちに、すべての国の人々に伝えるべき和解のメッセージをゆだねられました。

「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。これらはすべて神から出ることであって、神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。ですから、神がわたしたちを通して勧めておられるので、わたしたちはキリストの使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神と和解させていただきなさい」 (IIコリント 5 : 17-20)

神のご計画、それは教会です。

「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない」
(マタイ 16 : 18)

神は私たちに果たすべき任務をお与えになりました。

「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」 (マタイ 28 : 19-20)

目的主導の旅は、ここから始まります。私たちがリーダーとして答えておかなければならない3つの質問から始めましょう。これらの質問は、主イエスが語られた「**行って、すべての民をわたしの弟子にしてください**」というご命令の中に見出されます。与えられた任務を全うするためには、次の3つの質問に取り組まなくてはなりません。

1. 弟子とは何か 2. どのように弟子をつくるのか 3. どのように全世界に出て行くのか

2² 神の民と教会に対するイエスの御心を示している2つの重要な聖書箇所

「大宣教命令」と「最も大切な戒め」は、ともにイエスがお命じになったものです。教会の礎石であり頭である主イエスに対して、私たちは「はい、主よ。あなたに従います」と申し上げる以外にありません。これらの聖句に議論の余地があるでしょうか。教派を問わず、世界中のクリスチャンたちが、これらの命令を神の民と教会に対する主イエスの御心として受け止めているのです。

2² 「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」「隣人を自分のように愛しなさい」律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。
マタイ 22 : 37-40

礼拝

心を尽くして神を愛しなさい

ミニストリー

隣人を自分のように愛しなさい

2⁸ あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。
マタイ 28 : 19-20

伝道

行って…弟子にしてください

交わり

彼らに…洗礼を授け

弟子訓練

守るように教えなさい

1 2 3 4 5
△ **クリスチャンの健康は、弟子の人生および教会の「バランス」にかかっている**

イエスの5つの命令すべてに従う必要があります。これは命令ですから、取捨選択することはできません。これら一つ一つのご命令に、意図的に従うように努めなくてはなりません。これがバランスのとれた人生、すなわち神の目的に導かれた人生を送る秘訣なのです。



_____ **(礼拝)**



_____ **(ミニストリー)**



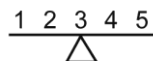
_____ **(伝道)**



_____ **(交わり)**



_____ **(弟子訓練)**



バランス



健康な教会は、意図的に「5つの目的」のバランスを保つ

しばしば教会は、イエスの御心になう教会をめざすよりも、牧師の個性に基づいた教会形成に流れてしまいがちです。私たちは、自分の人生においても、教会形成においても、イエスの5つの命令に従わなくてはならないのです。

人間の体内では、いくつもの器官が互いに支え合いながら機能しています。

脳－肺－血液－消化－筋肉－神経－心臓－骨格－関節

健康な体は自然に成長し、発達していきます。しかし、いずれかの器官が正常に機能しなくなれば、健康は損なわれてしまうでしょう。教会についても同じことが言えるのです。



教会の任務は、単に回心者を増やすことではなく、弟子をつくることである

教会は「弟子づくり工場」です。回心者を生み出す「伝道」の働きは、それ自体が大切な第一歩ですが、それだけでは神が望んでおられることには遠く及びません。

弟子とは何か？

キリストの弟子は…

- | | |
|---|--------|
| ● 日々、神に喜ばれる生き方をします
「神の喜びのために造られた」 | 礼拝 |
| ● 信者の交わりに加わります
「神の家族となるために造られた」 | 交わり |
| ● 成熟したクリスチャンをめざします
「キリストのようになるために造られた」 | 弟子訓練 |
| ● 教会を建て上げる働きに参加します
「神に仕えるために造られた」 | ミニストリー |
| ● 神の愛を未信者の人々に分かち合います
「使命のために造られた」 | 伝道 |

弟子とは、この世界に違いをもたらす人のことです。私たちは、弟子をつくるように命じられています。弟子とは、いつでも「はい」と言って、イエスに心から従っていく人のことです。



健康な教会で育ったキリストの弟子たちは、やがて世界中にキリストを宣べ伝えるようになる

「5つの目的」のバランスを保ちながら生きるクリスチャンは、イエスのなされたことを行います。神の民であるクリスチャンは、霊的欠乏、指導者の墮落、病気、貧困、教育の欠如などの世界規模の問題に取り組まなくてはなりません。



「目的に導かれた人生」は、神の栄光を表す生き方である

聞き従うことは、いけにえにまします。神が栄光をお受けになるのは、私たちが神の目的に従って生きる時です。神の目的を理解し、その目的に生きる時、神は私たちに、生きる理由、共に生きる人々、やりがいのある仕事、将来のビジョンを与えてくださいます。そして、やがてこの地上の人生を終えるとき、「私は心から神に従い、自分の人生の目的を全うしました」と言えるようになるのです。



神が心を痛めておられることに、あなたも心を痛めているでしょうか？

人々が問題を抱えて苦しんでいる様子をご覧になったイエスは、彼らが心に悩みを抱え、途方に暮れて「解決の糸口すら見いだせない」でいると言われました（マタイ 9 : 36）。人々は、指導者の墮落、貧困、病気、教育の欠如などの問題に苦しんでいましたが、それは、神を知らずにいる失われた人々の状況を表していました。この時代にも、イエス・キリストによる神との関係性を知らずに失われたままの人々がいます。今もなお、多くの人が墮落した為政者たちの弾圧と不正に苦しんでいます。極度の貧困の中で、その日暮らしを余儀なくされている人たちもいます。世界中に、病気や伝染病に苦しんでいる人たちがいます。基礎教育さえ受けられず、読み書きができない人たちも少なくありません。私たちは、これらの世界規模の問題を「5つの巨悪」と呼ぶことにしました。このような人々の状況を主イエスは、「飼い主のいない羊」（マタイ 9 : 36）のようであると表現されました。

「イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。また、群衆が**飼い主のいない羊**のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。そこで、弟子たちに言われた。『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい』」（マタイ 9 : 35-38）

主イエスの中心的なご命令に従うための**計画を持ち**、それらを教会生活の中で実践するように努めるなら、あなたは飼い主（羊飼い）としての責任を果たすことができるのです。

もし計画がない場合には、どうしたらよいのでしょうか？

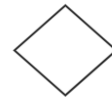
命令



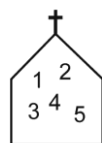
2²₈

$\frac{1\ 2\ 3\ 4\ 5}{\Delta}$

計画



目標



目的主導のパラダイム：どのように弟子をつくるのか



成長する健康な教会 — 弟子づくりのプロセス

目的主導は、聖書に基づいた健康な教会のモデルである

目的主導のモデルは、聖書に基づいています。特に、「最も大切な戒め」（マタイ 22：37）と「大宣教命令」（マタイ 28：19-20）の2つの命令に注目します。

目的主導は、参加者が教会員になるように導く

以下の同心円の図は、あなたの教会に集まっている人々を、献身度の違いに応じて段階別に位置づけたものです。それぞれの段階に属している人々のニーズを知り、彼らが次にどの段階に進めばよいのかを知るうえで役に立ちます。

献身度の同心円

あなたの教会に関係している人々を、6つの対象に分けて考えます。

住民→群衆→会衆→献身者→奉仕者→宣教者



「献身度の同心円」の説明

- **住民：** 教会の近くに住んでいる人たちで、教会に一度も来たことがない、時々来る、あるいは定期的に来ている人たち
- **群衆：** 定期的に来ているが、まだ (救われていない)人たち
- **会衆：** キリストと教会の (家族)の代わりに献身している人たち
- **献身者／弟子：** キリストの弟子として成長するために、 (霊的訓練)に真剣に取り組もうとしている教会員たち
- **奉仕者／仕僕：** ミニストリーに積極的に関わり、教会に (仕えている)教会員たち
- **宣教者：** 教会の (外)に出て行って、福音を宣べ伝えることに献身している教会員たち

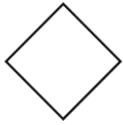
それぞれのグループが、独自の必要、動機、チャレンジ、そして可能性を持っています。人々を傍観者から神の働き人に造り変えていくことができるように、あなたの教会を支えていくことが、私たちの願いです。

「献身度の同心円」まとめ

1. (住民)とは、同心円の一番外側に属する最も大きな集団であり、伝道の対象となる人々です。マタイ9章でイエスは、「すべての町に羊飼いが必要である」と言っておられます。教会が力を合わせるなら、地域に住む人たちに福音を届けることができるのです。
2. ポイントは、地域の人々が教会に足を運び、福音に耳を傾けることができるようになることです。このようにして教会に足を運び、いずれかの礼拝に参加するようになった人を、 (群衆)と呼びます。
3. 教会に足を運び、礼拝に参加し、神のことばを聞くようになったら、イエスを救い主と信じて教会に加わるように励ましていきます。このようにして教会員になった人たちが、 (会衆)です。
4. 次のステップは、霊的成長への取り組みです。「主イエスを信じた私は、聖書を読み、神のことばを学び、キリストに似た者となるための取り組みに献身します」。このような決意をした人たちが、 (献身者／弟子)です。
5. イエスのようになりたいと願い、神のことばを学んでいくと、イエスは仕えられるためではなく、仕えるために来られたのだということが分かってきます。このような理解が深まるにつれて、自分のミニストリーに関わることによって教会に仕えていきたいと願うようになります。この人たちが、 (奉仕者／仕僕)です。
6. 最後に到達する円が、 (宣教者)です。キリストの福音を伝えるようになった人たちです。イエスは言われました。「あなたの周りの世界に出て行きなさい」。こうして私たちは、自分の居場所を離れて、人々に福音を伝えるために出て行くのです。

人々を神の家族の (交わり) に迎え入れ、
弟子訓練によって (霊的成熟) に向かって建て上げ、
教会の効果的な (ミニストリー) のために整え、
彼らを自分の人生の (使命) に送り出し、
これらを神への (礼拝) とすることによって、神の栄光を現す！

イエスがされたように、人々の献身度の違いを見極め、それぞれのグループに合わせて神のことばを適用していくとき、神は栄光をお受けになるのです。



目的主導の牧師は、単なる回心者ではなく、弟子をつくる ～私たちの任務は弟子をつくること～

「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい」
(マタイ 28 : 19-20)

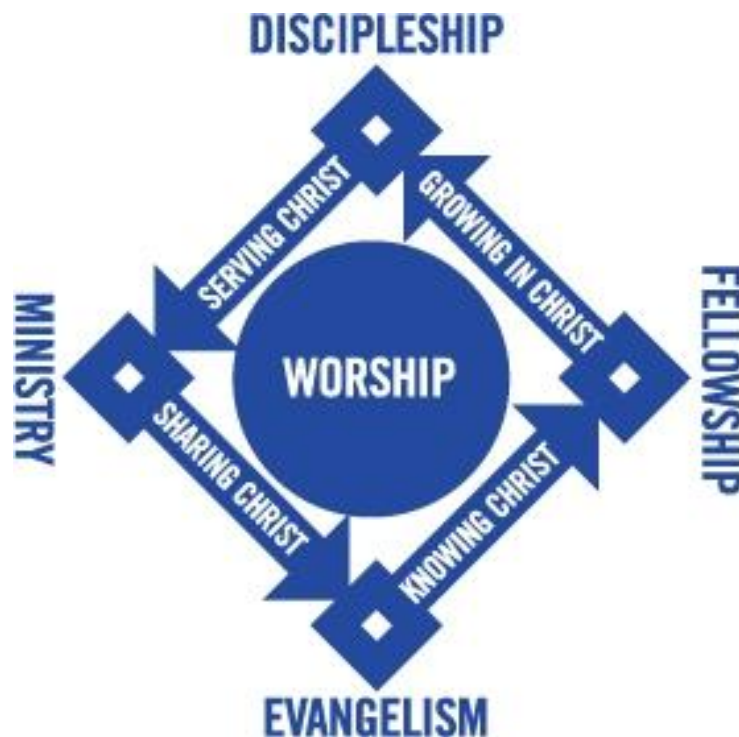
どのように弟子をつくるのか？

(意図的な) 弟子訓練のプロセスを確立しなくてはなりません。

目的主導の教会では、(クラス) と呼ばれる一連のセミナーを活用します。

目的主導のプロセスを通して、人々は教会につながっていない状態から、霊的に成熟した献身者へと成長していきます。やがて彼らはミニストリーに関わり、神から与えられた使命をこの世で果たしていくようになるのです。

以下の野球のダイヤモンド図は、4つの部分からなる訓練のプロセスを説明するものです。それぞれのステップを踏むことで、人々をキリストにある成長へと導いていきます。



クラス1：メンバーシップ

メンバーシップクラス（入会クラス）では、次の5つのテーマを取り上げます。

1. _____（救い）の定義とその意味
2. 私たちの救いとキリストにあるアイデンティティを思い起こすための_____（象徴）すなわち、洗礼と聖餐について
3. 目的主導の_____（戦略）の重要性
4. 教会の_____（信仰告白）について（教理と生活指針の簡単な説明）
5. 教会の_____（構造）について（メンバーはどのように教会の働きに関わり、仕えていくのか）

クラスの終わりに、教会員となるための誓約書にサインをしてもらいます。誓約の内容は以下の通りです。

1. 定期的に礼拝に出席すること
2. ミニストリーに備えるために訓練を受けること
3. ゴシップ（うわさ話）を避けること
4. 定期的に献金をすること
5. 未信者を教会に誘うこと

クラス2： 霊的成長

このクラスは、キリストを信じた人たちの信仰の成長を後押しするクラスです。キリストの体に連なる成熟したクリスチャンとなるために必要なスキルと習慣について学びます。

霊的成長に必要な習慣とは…

1. 毎日の神との交わりの時間
伝統的には、_____（ディボーション、静思の時）と呼ばれる
2. 効果的な_____（聖句暗記）の方法
3. _____（聖書を学ぶ）ためのいくつかの簡単な方法
4. _____（スモールグループ）に定期的に参加することの大切さ
5. _____（十分の一献金）を神に献げることの重要性

クラスの終わりに、以下の内容を含む誓約書にサインをしてもらいます。

1. 毎日、神との交わりの時間を持つこと
2. 定期的に教会の働きのために献金すること
3. スモールグループの交わりに積極的に参加すること

クラス3： ミニストリー

このクラスは、神が私たち一人ひとりを創造し、生まれる前から特別な働きを割り当て、その働きを全うするのに必要なすべてのものを備えてくださっている、という前提から始まります。この考え方を「SHAPE」と呼んでいます。

1. 霊的賜物 (Spiritual Gifts)

神はすべてのクリスチャンに、教会の働きを建て上げるために必要な_____ **(霊的賜物)** をお与えになっています。

2. 情熱 (Heart)

人生のさまざまな分野やミニストリーについて抱く感情や思いは、人それぞれです。これを_____ **(情熱)** と呼んでいます。

3. 能力 (Abilities)

私たちはみな、生まれながらにある種の_____ **(能力)** が与えられています。これは霊的賜物とは異なり、自分らしさを表現するのに役立つ才能や能力のことです。

4. 個性 (Personality)

_____ **(個性)** は、私たち一人ひとりに与えられている神からの贈り物です。それぞれの性格が異なるのは、あらゆる人々のあらゆる必要に応えていくためです。

5. 経験 (Experiences)

神はすべてのクリスチャンに、いくつもの重要な人生_____ **(経験)** を与えておられます。神はそれらの経験を用いて、私たちを神の願われる者へと造り変えてくださいました。それらの経験とは…

- **家族の経験**
- **仕事の経験**
- **教育の経験**
- **霊的経験**
- **痛みの経験**は、自分と同じような苦しみを通っている人たちに分かち合うべきものを与えてくれます。痛みの経験は、さまざまな傷や心の痛み苦しんでいる人たちを励ますために用いられます。問題を乗り越えるために神が与えてくださった恵みを、今度は同じ苦しみを抱えている人たちのために用いるのです。

このクラスを修了した人は、教会のリーダーと面接をして、どんなミニストリーに関わる事ができるのかを考えます。

クラス4： 宣教とピースプラン

4番目のクラスのテーマは宣教です。ここでは、次の5つのポイントを取り上げます。

1. 神の宣教の働きに関する簡単な_____（歴史）

神はこの世界で何をしておられるのか、また、歴史を通じて教会をどのように用いてこられたのかを見ていきます。

2. _____（地域宣教）と_____（世界宣教）の機会について

3. いくつかの難しい質問に対する基本的な_____（回答）

未信者の人たちから受ける難しい質問にどう答えたらよいかを学びます。

4. 個人的な_____（証し）の準備

他の人にどうやって証しをしたらよいかを学びます。

個人的な証しを書くための4ステップ

- キリストに出会う_____（前の）人生はどのようなものだったか
- どのようにしてキリストに出会い、_____（救われたか）
- _____（今の）私の人生について
- キリストを人生に_____（お迎えする）にはどうしたらよいか

5. 地域宣教と世界宣教に取り組むための目的主導の戦略について

この戦略を、_____（ピースプラン）と呼んでいます。

どのようにすべての国々に出て行くのか？ ピースプラン (PEACE PLAN)

1. 和解の促進 (Promote reconciliation)

和解の促進とは、人々がイエス・キリストによって、神および他の人との正しい関係を回復することができるように、福音を伝えていく働きのことです。

2. リーダーの養成 (Equip leaders)

キリストのようなリーダーになるように人々を教えます。キリストのようなリーダーとは、自分が仕えている人々のために犠牲を払うリーダーのことです。

3. 貧しい人々の支援 (Assist the poor)

貧しい人たちに寄り添い、ただ経済的に援助するだけでなく、具体的に手を貸すことです。

4. 病人の世話 (Care for the sick)

5. 次世代の教育 (Educate the next generation)

「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にきなさい」
この命令をどのように成就するのか

《イエスが心を痛められた世界の巨悪》

《イエスの教えと実践》

- 霊的欠乏・喪失
- 自己中心的な指導者たち
- 極度の貧困
- 病気・疫病
- 教育の欠如

- P 和解の促進
- E 仕えるリーダーの養成
- A 貧しい人々の支援
- C 病人の世話
- E 次世代の教育

神に力を与えられた普通の人々が、共に力を合わせて、行く先々で世界を変えていく

詳しい情報は… www.thepeaceplan.com

お気づきの方もおられるかもしれませんが、「5つの目的」に対して「4つのクラス」しかないのはなぜでしょうか？

礼拝は他の目的すべてをカバーする：

礼拝は、「最も大切な戒め」と「大宣教命令」に示されたイエスの5つのご命令すべてを実践するときの姿勢に関わるものであり、それぞれのクラスの中で強調されている目的だからです。

なぜクラスが必要なのか？

クラスシリーズにそれほどの力があるのはなぜでしょうか。クラスには次のような一連の流れがあり、その流れを理解することがクラスの力を理解するかぎとなります。

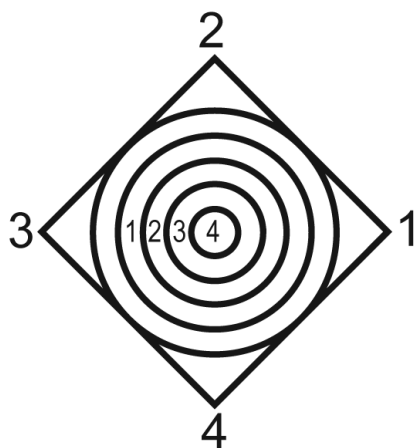
クラス1： メンバーシップクラスでは、（交わり）の聖書的目的について教えます。クラス1は、神の家族に加わる方法を学ぶクラスです。

クラス2： 霊的成長のクラスでは、（弟子訓練）の聖書的目的について教えます。クラス2は、キリスト教信仰の価値や意味について学ぶクラスです。

クラス3： ミニストリークラスでは、（奉仕）の聖書的目的について教えます。クラス3は、忠実に仕えることの大切さを学ぶクラスです。

クラス4： ミッションのクラスでは、（伝道）の聖書的目的について教えます。クラス4は、永遠の価値に焦点を合わせることを学ぶクラスです。

各クラスを学ぶことで「5つの目的」を繰り返し復習し、より深く理解することになります。



羊を育てるリーダーは、人生が変えられるための環境を十分に整えなくてはならない



献身度の同心円	洞察	教会に対する神の目的
地域住民との関係において最初に築くべきものは 信頼関係（土台） です。地域の人たちに喜ばれる取り組みを通して、人々の注意を惹きつけます。		宣教／伝道
群衆の人々に対しては、 親しみやすさ が重要になります。人々が次の週も教会に戻って来られるようにするには、親しみやすさがなくてはなりません。		伝道
会衆に対しては、 家族 のように感じられる環境の整備が必要です。地域住民と群衆には親しみやすさを、会衆には家族的な交わりを提供する必要があります。		交わり
献身者 に対しては、彼らの 信仰 を建て上げていく必要があります。聖書を学び、彼らが自分で聖書を学べるように導きます。		弟子訓練
奉仕者 に対しては、自分が召されているミニストリーにおいて 忠実 に仕えていけるように励まします。		ミニストリー
宣教者 に対しては、福音を伝えるように励ましていきます。永遠に残るものに 焦点 を合わせ、人々を救いに導き、神の国を建て上げていく働きの計り知れない価値を伝えていきます。		宣教

「目的主導の旅」要約

神は御国を建て上げておられます。私たちは、神の国を共に建て上げている同労者です。神は王であり、私たちの父です。神の子どもである私たちは、神に忠実に従います。なぜなら、神は王であり、私たちが喜んで従うことを期待しておられるからです。御国の建設者であられる神は、私たちに何をどのように行うべきなのかを命じる権利を持っておられます。

神は、ご自分の言葉である聖書を通して、私たちに対する御心を明らかにしておられます。聖書は、私たちの人生と働きの土台であり出発点です。聖書は私たちに、キリストの命令を教え、神の目的を明らかにしています。

目的主導の働きを定義する、**2つの重要な聖書箇所**があります。「最も大切な戒め」と「大宣教命令」です。それぞれマタイ 22 章と 28 章に記されています。この2つの聖書箇所の中に、私たちがバランスよく実践すべき「5つの目的」が見出されます。

「最も大切な戒め」は私たちに、「何よりも神を愛すること」(**礼拝**)と、「自分のように隣人を愛すること」(**ミニストリー**)を教えています。一方、「大宣教命令」は、「全世界に出て行ってキリストを宣べ伝えること」(**伝道／宣教**)、「新しい信者に洗礼を授け、神の家族に迎え入れること」(**交わり**)、そして「意図的な計画に基づいて、人々を心からキリストに従う献身者として育てること」(**弟子訓練**)を教えています。

私たちはこれらを、「私たちと教会に対する神の5つの目的」、すなわち「礼拝、ミニストリー、伝道、交わり、弟子訓練」と呼んでいます。

私たちの王に心から従い、
私たちに対する神のご計画について
聖書は何と教えているかを理解すること
——これが、私たちの受けている**命令**です

羊飼いである私たちの主要な任務は、私たちの神の栄光のために、「すべての国民を弟子とすること」です。この任務に関する3つの質問があります。それは、「**弟子とは何か**」「**どのように弟子をつくるのか**」「**どのように全世界に出て行くのか**」という質問です。

健康なキリストの弟子となるためには、その心と生き方において、「5つの目的」をバランスよく実践する者とならなければなりません。私たちはこの生き方を「**目的に導かれた人生 (The Purpose Driven Life)**」と呼んでいます。これが弟子の定義です。

神の御心は、これらの弟子たちが自分たちの周りの世界に出て行き、キリストによる救いの御業を宣べ伝え、王なる神の栄光のために良き業に励むことにほかなりません。どのように全世界に出て行くのかに関する戦略を、私たちは「**ピースプラン**」と呼んでいます。

神の栄光のために、
キリストの命令に心から従い、
すべての国民を弟子とすること
——これが、私たちの**ゴール**です。

弟子とは、イエス・キリストのすべての命令に従う者であり、その任務はすべての国民を弟子とすることであることを、私たちは知っています。

良い羊飼いになるためには、自分の心が神の御心と調和していなくてはなりません。神が心を痛めておられることに、私たちも心を痛めるのでなくてはなりません。神は、靈的に失われている人、圧政に苦しんでいる人、極貧の中にいる人、病気や疫病を患っている人、そして読み書きなどの基礎教育さえ受けられずにいる人たちをご覧になって、深く心を痛めておられます。私たちはこれらの世界的な問題を「5つの巨悪」と呼んでいます。

私たちは、神の羊、すなわち神の民を導くように神に召された羊飼いであり、この務めに心から加わりたいと願っている者たちです。すべての国民を弟子とするには、具体的な計画が必要です。そのための効果的かつ実証済の計画が「**目的主導の教会 (The Purpose Driven Church)**」と呼ばれるパラダイムです。

このパラダイムを通して、私たちは人々の状態を献身度の違いによって理解することを学んできました。それが「献身度の同心円」です。これは、神から離れている人々が一歩ずつ神に近づき、教会の中核を担うようになるまでの段階を、5つの層に分類したものです。私たちの務めは、**地域住民**の間でキリストの光を放ち、人々を求道者の**群衆**に迎えて共に「礼拝」をささげ、キリストこそが人生のすべての必要を満たしてくださる方を示しながら**会衆**の「交わり」に加え、弟子 (**献身者**) となっていくためのさまざまなプログラムを通して教会員の「靈的成長」を導き、彼らが自分の「ミニストリー」を見つけて教会を建て上げる**奉仕者**となれるように助けていくことです。

そして最後に、彼らが主の証人になるという召しに応じて、自分の証しを他の人に分かち合い、「伝道」の働きを行う**宣教者**となれるように導いていきます。

私たちは、4つのクラスを通して人々の成長を段階的に後押ししていきます。これらのクラスの中で「5つの目的」を教え、人々が一歩ずつ献身を深めて弟子としての生き方を確立できるように導くのです。

野球のダイヤモンド図で示される**クラス (CLASS)** と呼ばれるこのシステムは、どうしたら教会の**メンバー (教会員)** となり、**靈的成熟**に向かって成長し、自分の**ミニストリー**を見出し、自分の**使命**に生きる者となることができるのかを教えるためのものです。**礼拝**の心を教えつつ、人々の成長のステップを導くことが、私たちの務めです。これらはすべて、神の栄光を現すためのものです。

私たちの弟子づくり計画は、私たちの人生と教会に対する「5つの目的」のバランスを意識的に保つことによって健康な教会を建て上げていく、というものです。

人々を神の家族の _____ (**交わり**) に迎え入れ、
弟子訓練によって _____ (**靈的成熟**) に向かって建て上げ、
教会の効果的な _____ (**ミニストリー**) のために整え、
彼らを自分の人生の _____ (**使命**) に送り出し、
これらを神への _____ (**礼拝**) とすることによって、神の栄光を現す！

あなたが何をどのように行うかは、あなた次第です。それは、神の人、指導者、羊飼い、しもべ、そして神の子どもとしてのあなた自身にかかっているのです。あなたの計画は何でしょうか？私たちが分かち合ってきたこの方法は、これまでにも大多数の成功したリーダーたちが、世界中で実践してきた方法です。それが、「**目的主導の計画 (The Purpose Driven Plan)**」なのです。

あなたをこの弟子づくりの旅にお招きしたいと思います。それは、あなたの人生と教会を神の目的に従って建て上げ、キリストの命令に心から従うことを教えていく旅なのです。

ある日、イエスはペトロに向かって言われた。「あなたはわたしを愛しますか」。
ペトロが「もちろんです。どうしてそんなことをお尋ねになるのですか」と答えると、
イエスは「わたしの羊を導きなさい」と言われた。

イエスは再び言われた。「あなたはわたしを愛しますか」。
ペトロが「はい主よ、さきほど申し上げた通りです」と答えると、
イエスは「わたしの羊を養いなさい」と言われた。

イエスはもう一度言われた。「あなたはわたしを愛しますか」。
ペトロが「はい主よ、私はあなたを愛します」と答えると、
イエスは言われた。「わたしの羊を愛しなさい」

みなさんは神の羊の牧師であり、指導者であり、羊飼いです。あなたの務めは、ゆだねられている神の羊の群れを見守ることです。その羊たちを導き、養い、愛するようにと、神があなたを召されたのです。

羊飼いは、神の家族を養い、導きます。教会はイエス・キリストの羊の群れです。羊飼いがいなければ、人々は人生に何の答えも意味も見出せずに、悩み苦しむこととなります。キリストを知らずに失われているこの世界に仕えるようにと、主があなたを羊飼いとして、そして指導者として任命されたのです。

神の召しに対するあなたの応答は何でしょうか？
あなたは神のことばに従いますか？
あなたは何をするつもりでしょうか？
あなたの計画は何でしょうか？

羊を養うリーダーの祈り

神様、あなたは私たちの父であり、王です。あなたは私たちを用いて御国を建て上げたいと願っておられます。私たちは、教会を建て上げることによって、あなたの御国を建て上げます。教会は、弟子づくりによって建て上げられていきます。弟子は、神の羊の群れを養い導く、愛のある羊飼いによってつくられます。そして、この弟子たちは全世界に使わされていきます。それは、あなたの御心が天で行われるように、地上でも行われるようになるためです。

父なる神様、私たちを用いてください。王なる神、私たちをお用いください。これが私たちの切なる願いです。

私たちはあなたの目的に従って教会を建て上げます。御子イエス・キリストのご命令に従います。自分たちの置かれている地域で明確に証しし、失われている人々を教会に招きます。福音を分かりやすく宣べ伝え、生き生きとした礼拝を通して、多くの人々がイエス・キリストに対する信仰に導かれるように努めます。

その信仰の上に成熟した信仰生活を築くために、さまざまなバイブルスタディ、ディバーション、聖句暗唱、祈り、捧げること、スモールグループ活動などを用意します。

私たちは、人々がミニストリーに加わるように励まします。彼らがさらに成長できるように、私たちの心と人生を分かち合っていきます。また、彼らが必要なスキルを身につけ、自分のミニストリーで成功できるように助けていきます。

父なる神様、それから私たちは、これらの忠実な兄弟姉妹たちをこの世界に送り出していきます。それは、彼らが全世界に出て行って御国のために働き、この地にあなたの支配が確立するようになるためです。

父なる神様、あなたが私たちを選び、そして用いてくださることを感謝します。最後まで忠実に従います。けれども、あなたの助けと導きがなければ何もできません。父なる神様、どうか私たちを用いてください。王なる神、私たちをお用いください。

これが私たちの切なる願いです。

あなたの御国が来ますように。あなたの御心が行われますように。
御国と力と栄光は、いつまでもあなたのものです。

アーメン